

オプテックス (コード 6914・東証 1部)

業績推移(連結)

(予想は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円 % 円)

決算期	売上高		経常利益		当期利益		一株当利益	一株当配当	配当性向
		伸び率		伸び率		伸び率			
06.12	20,294	+6.7	3,921	+41.2	2,282	+44.0	175.7	40.0	22.8
07.12	22,167	+9.2	4,075	+3.9	2,377	+4.2	140.4	40.0	28.5
08.12(予)	25,000	+12.8	4,200	+3.1	2,400	+1.0	141.6	40.0	28.2

(07年1月1日付で株式分割(1株 1.3株)を実施)

赤外線センサの世界的トップメーカー

特 色...防犯用、産業用センサの専門大手で、赤外線センサの世界的トップメーカー。自動ドアセンサでは国内 50%、世界でも 30%のシェア。

07年12月期は過去最高の業績に

欧州向け拡販などで過去最高業績...07年12月期は、売上高は06年12月期比9.2%増、経常利益も同3.9%増となり、過去最高の業績になった。収益性の高い欧州向けが好調だったことや為替面でのプラス要因(1億5,000万円)などにより、販売管理費の増加(約7億1,900万円)を吸収した。売上高を事業分野別にみると、欧州を中心とした海外向け屋外用センサの好調な防犯事業が06年12月期比5.5%増に拡大。海外でのスイングドア用センサの販売立ち上がりや米国東部地区での新たな営業拠点開設などから自動ドア事業は同3.1%増に。日本エフ・エーシステムの子会社化とマルチカメラ画像センサ「MVSシリーズ」の投入などの寄与で産業機器事業も同8.4%増となった。また、所在地別セグメントでは、屋外防犯需要の高まりを背景に海外向け代理店経由販売の伸びた国内売上が同4%増となったほか、屋外警備に対する需要の高い欧州向け売上が同15.3%増、テロ対策需要の高まりによる屋外センサの販売好調な北米向けが同16%増に。中国工場における生産受託事業において生産委託企業で有害物質対応が完了したことや受託製品機種増などにより、アジア向けも同31.1%増と、各セグメントとも拡大した。

08年12月期は積極的な先行投資で増益率鈍化へ

最高業績更新見通しも増益率鈍化へ...08年12月期は、欧州向け防犯センサを軸とした新製品投入や新規販路の拡大などにより、連結売上高が07年12月期比12.8%増と、2ケタの増収率になりそう。分野別売上予想では、防犯事業:122億8,000万円(07年12月期比10.2%増)、自動ドア事業:58億5,000万円(同13%増)、産業機器事業:47億円(同17%増)など。一方、マネジメント力の強化、技術開発力の強化(開発要員の増強、新たな要素技術の開発、システム対応力の強化)、開発~量産プロセスの効率化とスピードアップなど、今期以降の業績拡大に向けた積極的な先行投資により、販管費が07年12月期比18%増の見通し。これら先行投資の強化によって経常利益は同3.1%増、当期純利益も同1%増と、売上高の2ケタ伸長に比べて増益率は鈍化しそう。なお、会社側の業績予想で前提とされる為替レートは、1ドル=105円、1ユーロ=160円。年間配当は07年12月期と同じく40円の予定。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。